



トピックス…②

担い手農業者の6割以上で後継者候補あり

日本政策金融公庫・農林水産事業は、平成30年7月に実施した「平成30年上半期農業景況調査」において、融資先の担い手農業者（認定農業者の経営改善を後押しするスーパーL資金又は新たな取組みを支援する農業改良資金の融資先）を対象に事業承継に関する調査を行った。農業者の後継者不足が懸念されている中、本調査では、担い手農業者の6割以上で後継者の候補がいるという結果となった。

1. 事業を承継する後継者は誰か

将来、事業を承継する後継者は誰か聞いたところ、「子息・息女」(51.3%)の回答が最も多く、次いで「親族以外の役員・従業員」「第三者」「他の親族」の順となった。これらをあわせると62.5%となり、6割以上の担い手農業者で後継者の候補がいることがわかった。

個人経営と法人経営を比べると、「子息・息女」(個人55.1%、法人43.7%)は個人経営で高く、「親族以外の役員・従業員」(個人1.4%、法人15.9%)は法人経営で高くなる傾向にある。また、法人経営において「親族以外の役員・従業員」が事業を承継する割合を業種別に見ると、稲作(都府県)で32.1%、酪農(北海道)で23.1%、稲作(北海道)で21.8%と特に高くなっている(表1～2参照)。

売上階層別に見ると、売上規模の大きい経営体ほど後継者候補がいる傾向にあり、「親族以外の役員・従業員」を後継者とする割合も高くなっている。一方で、売上規模の小さい経営体ほど後継者候補が決まっていない(未定・考えていない・探している)割合が大きくなる傾向にある。また、直近3年間の売上高伸び率の階層別に見ると、売上高伸び率が高い経営体ほど、親族を後継者候補とする割合が高くなっている。

2. 事業承継の課題は何か

事業承継にあたっての課題は、「経営ノウハウの継承」(52.5%)、「生産技術の継承」(47.1%)、「事業の将来性が不安」(38.3%)という回答が多くなった。個人経営と法人経営で比較すると、「生産技術の継承」(個人47.3%、法人46.7%)に大きな差は見られないが、「経営ノウハウの継承」(個人47.0%、法人63.3%)は法人経営で高く、「事業の将来性が不安」(個人43.7%、法人27.8%)は個人経営で高くなっている。

耕種と畜産を比較すると、「事業の将来性が不安」(耕種41.8%、畜産28.0%)は耕種で高く、「贈与税や相続税の発生」(耕種10.0%、畜産20.2%)は畜産経営で高くなっている。売上階層別に見ると、売上規模の大きい経営体ほど「経営ノウハウの継承」、「贈与税や相続税の発生」を課題とする割合が高い傾向にある。また、「事業の将来性が不安」、「承継者がいない」と回答した割合は、売上規模が小さい経営体ほど高くなっている(表3参照)。

さらに、事業承継にあたっての課題を後継者候補の有無別に見ると、後継者候補がいる経営体は「経営ノウハウの継承」や「生産技術の継承」などの事業承継後の実務面に課題意識があることがうかがえる。一方、後継者候補がいない経営体では、「事業の将来性が不安」などの事業基盤の強化に課題意識があることがうかがえる。

表1 業種別の事業承継予定者(個人経営)

	後継者候補あり					後継者候補なし			その他
	子息・息女	それ以外の親族	親族以外の役員・従業員	第三者(農地バンク・近隣農業者を含む)	未定(現時点では考えていない)	期ではない(決める時期ではない)	承継する候補者がいない(探している)		
個人全体 (n = 3617)	55.1	1.8	1.4	3.0	21.6	6.4	8.8	1.7	
稲作(北海道) (n = 459)	49.0	2.8	0.4	6.5	22.4	8.1	9.6	1.1	
稲作(都府県) (n=938)	60.4	1.5	1.4	3.6	19.8	5.4	6.8	1.0	
畑作 (n=396)	55.3	1.8	1.3	2.5	20.7	4.8	11.9	1.8	
露地野菜 (n=346)	58.7	1.4	1.7	2.3	18.2	6.9	8.4	2.3	
施設野菜 (n=350)	53.4	2.3	1.4	1.4	24.9	6.6	9.1	0.9	
茶 (n=85)	61.2	0.0	1.2	2.4	17.6	5.9	9.4	2.4	
果樹 (n=233)	51.1	1.7	1.3	1.3	27.5	8.6	6.9	1.7	
施設花き (n=95)	50.5	2.1	0.0	1.1	29.5	3.2	9.5	4.2	
きのこ (n=11)	54.5	0.0	9.1	9.1	27.3	0.0	0.0	0.0	
酪農(北海道) (n=159)	45.9	0.6	1.9	2.5	20.1	10.7	12.6	5.7	
酪農(都府県) (n=139)	56.8	1.4	2.2	1.4	21.6	6.5	9.4	0.7	
肉用牛 (n=218)	52.8	2.8	2.3	2.3	22.0	7.8	8.3	1.8	
養豚 (n=42)	59.5	2.4	0.0	2.4	19.0	2.4	9.5	4.8	
採卵鶏 (n=11)	45.5	0.0	0.0	9.1	27.3	0.0	16.2	0.0	
ブロイラー (n=23)	43.5	4.3	0.0	0.0	26.1	13.0	8.7	4.3	

出典:「農業景況調査:事業承継」(日本政策金融公庫 農林水産事業本部)

表2 業種別の事業承継予定者(法人経営)

	後継者候補あり					後継者候補なし			その他
	子息・息女	それ以外の親族	親族以外の役員・従業員	第三者(農地バンク・近隣農業者を含む)	未定(現時点では考えていない)	期ではない(決める時期ではない)	承継する候補者がいない(探している)		
法人全体 (n = 1844)	43.7	3.0	15.9	2.1	17.6	7.4	6.2	4.1	
稲作(北海道) (n = 55)	52.7	1.8	21.8	3.6	10.9	1.8	3.6	3.6	
稲作(都府県) (n=446)	24.4	2.2	32.1	4.0	17.3	6.1	8.3	5.6	
畑作 (n=88)	50.0	0.0	13.6	1.1	22.7	6.8	3.4	2.3	
露地野菜 (n=114)	48.2	1.8	11.4	0.9	20.2	7.0	9.6	0.9	
施設野菜 (n=105)	48.6	2.9	8.6	0.0	20.0	12.4	3.8	3.8	
茶 (n=40)	55.0	5.0	5.0	2.5	12.5	5.0	5.0	10.0	
果樹 (n=75)	41.3	4.0	12.0	2.7	16.0	12.0	10.7	1.3	
施設花き (n=44)	61.4	0.0	4.5	2.3	22.7	4.5	4.5	0.0	
きのこ (n=56)	44.6	1.8	19.6	1.8	10.7	7.1	12.5	1.8	
酪農(北海道) (n=65)	49.2	4.6	23.1	0.0	10.8	6.2	1.5	4.6	
酪農(都府県) (n=76)	56.6	5.3	3.9	0.0	17.1	6.6	5.3	5.3	
肉用牛 (n=161)	56.5	3.7	8.7	3.1	14.9	6.8	3.7	2.5	
養豚 (n=175)	50.9	1.7	7.4	1.7	19.4	9.1	5.1	4.6	
採卵鶏 (n=96)	49.0	7.3	5.2	0.0	19.8	8.3	6.3	4.2	
ブロイラー (n=41)	48.8	2.4	7.3	0.0	24.4	4.9	9.8	2.4	

出典:「農業景況調査:事業承継」(日本政策金融公庫 農林水産事業本部)

表3 事業承継上の課題(複数回答)

	経営ノウハウ継承	生産技術の継承	承継者育成の時間的余裕	相談する場所がわからない	事業の将来性が不安	関係者(親族・従業員等)の理解が得られない	承継者が買収資金を確保できない	承継者と間に資産に対する評価に相違がある	贈与税や相続税の発生	承継者がいない	その他
全体(n=5461)	52.5	47.1	17.8	2.3	38.3	1.9	4.5	2.2	12.4	13.8	5.8
個人(n=3618)	47.0	47.3	16.4	2.5	43.7	2.0	4.3	2.1	12.4	16.2	5.3
法人(n=1843)	63.3	46.7	20.4	1.9	27.8	1.6	4.8	2.2	12.3	9.1	6.8
耕種(n=3938)	51.4	48.8	18.1	2.3	41.8	1.9	3.8	1.9	10.0	14.6	5.8
畜産(n=1214)	55.6	42.3	16.2	2.2	28.0	1.8	6.5	3.2	20.2	11.9	6.0

出典:「農業景況調査:事業承継」(日本政策金融公庫 農林水産事業本部)